

オール旭で 第8波を防ぎましょう

市長 米本弥一郎



今冬はインフルエンザと新型コロナの同時流行が心配されています。根拠としては、南半球の豪州で例年よりも数か月早くインフルエンザの流行が確認されたことに加え

て、ここ数年インフルエンザが流行しなかったことで、流行が懸念される「香港型」への抗体保有率の低下です。市では、同時流行を防ぐため、重症化リスクの高い高齢者や小児のほか、妊娠されている方などに、インフルエンザ予防接種を呼びかけるとともに、費用の一部を助成します。年内の接種が対象なので、早めに接種しましょう。

新型コロナオミクロン株対応ワクチンの集団接種を10月に開始しました。これまでの本市における新型コロナワクチンの接種率は高く、特に12歳以上の1〜4回目と、5〜11歳の1・2回目の接種率は、県内トッ

プクラスとなっています。市民の皆さまのご理解と旭匠瑳医師会、旭中央病院をはじめとする関係者の皆さまのご尽力に感謝を申し上げます。

先日、2022年のノーベル生理学・医学賞の発表があり、沖縄科学技術大学院大学の客員教授でもあるスバンテ・ペーボ博士が受賞されました。博士は、人類の進化とゲノム（全遺伝情報）に関する研究で高い成果を上げ、現代の人に約4万年前に絶滅したネアンデルタール人の遺伝子を見いだすことに成功しました。この遺伝的な影響が、新型コロナウイルス感染症の重症化リスクに関係するなど、今日でも重要なものとなっているそうです。

今後到来されるといわれている第8波。さまざまな研究が進むことで、新型コロナの収束に一步でも近づければと願ってやみません。